

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画名 : 人と環境にやさしい交通システムの構築による  
「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の創造

岡山市

平成27年3月

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年3月12日

計画の名称 1 人と環境にやさしい交通システムの構築による「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の創造
計画の期間 平成21年度～平成25年度 (5年間)
計画の目標 自動車交通と公共交通との連携を図りながら、人と環境にやさしい交通システムを構築することにより、交通結節点という特性を活かして中四国圏域の発展を先導する広域的な交流拠点を形成すると共に、豊かな自然と70万都市の特性を活かして「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」を形成する。
計画の成果目標(定量的指標)
定量的指標の定義及び算定式

事後評価
○事後評価の実施体制、実施時期
事後評価の実施体制
岡山市において当該社会資本総合整備計画関係課メンバーにより事後評価を実施
事後評価の実施時期
平成27年3月
公表の方法
岡山市HPに掲載

1 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 地方道路整備事業
B 関連社会資本整備事業
C 効果促進事業
各表には番号、事業種別、地域種別、交付対象、直接間接、事業主体、省略工種、要素事業名、事業内容(延長・面積等)、市町村名、事業実施期間(年度)、全体事業費(百万円)、備考が記載されている。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況
II 定量的指標の達成状況
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
各表には番号、一体的に実施することにより期待される効果、備考が記載されている。

3. 特記事項(今後の方針等)

今後引き続き、周辺地域との連携強化、都市内の渋滞緩和を図り、交通利便性の高い都市を目指し道路整備を進めていく。
休日の都心歩行者数の増加については、中心市街地活性化政策パッケージの推進など、交通以外の部署とも連携して横断的に取り組んでいく。
放置自転車に対する啓発・撤去を継続的に行うとともに、ニーズに応じた駐輪場を整備することで、放置台数を削減し、歩行者・自転車の利用環境向上に努める。

